

三年生 国語 学習プリント



三年 組 名前

漢字の音と訓 P 38

漢字の「音」と「訓」について考えましょう。

○ 漢字の「音」と「訓」は、それぞれどのようなものが多いのかを考えましょう。

音	訓
聞いただけでは（ ）が多い。	聞いてすぐに（ ）が多い。

○ 漢字の「音」と「訓」について、次のようにまとめました。文のアとウにあてはまる言葉を、教科書の言葉を使って書きましょう。

漢字は、はるか昔に（ア）で生まれました。日本にはもともと文字がなかったので、日本人は、（ア）の漢字を使って、日本語を書き表せるようにしました。

（ア）では、「山」という漢字を「サン」という発音で読んでいました。これが（イ）です。

日本では、「まわりの土地より高くなっている所」のことを「やま」と言っていたので、この漢字を「やま」とも読むことにしました。これが（ウ）です。

このように、漢字には、（イ）と（ウ）の読み方があることが分かりました。

ア			
イ			
ウ			

👉 上 P 38 ・ 39 を読んで考えましょう。

○ 次の(1)～(5)の——部の漢字は、「音」と「訓」のどちらが使われていますか。当てはまるほうに○をつけましょう。

(1) 正しい発音でれんしゅうする。

(1)	音・訓
-----	-----

(2) にわに 赤い花がさいている。

(2)	音・訓
-----	-----

(3) 音と訓について話します。

(3)	音・訓
-----	-----

(4) コップに氷を入れる。

(4)	音・訓
-----	-----

(5) 今は、十時三十一分です。

(5)	音・訓
-----	-----

○ 次の(1)～(3)の文を声に出して読みましょう。——部の漢字は、読み方がちがいます。例のように「音」はカタカナ、「訓」はひらがなで書きましょう。

例 朝早くおきて朝食を作ろう。

<u>例</u>	朝
訓	あさ
音	チヨウ

(1) とく点を表に書き表す。

(1)	表
訓	あき
音	

(2) 時計のはりが何回も回る。

(2)	回
訓	
音	

(3) 音楽のじゆぎょうはとても楽しい。

(3)	楽
訓	
音	

👉 上P148 「これまでに習った漢字」・P153 「この本で習う漢字」でたしかめましょう。

○ 「学校が始まったら先生に聞きたいこと」「分からなかったこと・心配なこと」を書きましよう。